

第一章 科学と宗教

一 文明社会における宗教的生命の衰退……………	12
二 科学と宗教……………	15
キリスト教会と科学思想の闘争	近代日本の宗教事情
現代における宗教衰退の理由	現代社会のなかの宗教
現代文明社会の精神的風土	文明社会における宗教の奇形児
三 真実の宗教とは?……………	35
真の宗教的要求	人道主義的宗教
	神秘主義的宗教

四 死の問題をめぐって……………	47
------------------	----

岸本博士の場合 心霊科学 死後生存の問題 見えない世界の実在感 生の論理的構造 永遠なる生命の追求

五 自我開顕の宗教……………	72
自我の開顕	自我開顕への道
関係	宗教と科学の正しい

第二章 偉大なる宗教者の三つの典型

一 Who am I?—智性のヨーガ……………	84
ヴェーダーンタ哲学	聖者ラーマナ・マハーリシ
真実なる自我の探求	他力の宗教と自力の宗教
ル(靈師)と弟子の関係	われとはだれか? 哲学

と宗教との関係 知識から智恵への転化 ウパニシ
ヤッド哲学 輪廻と業の思想

二 神に狂う——情感のヨーガ……………122

三人の偉大な宗教者 ラーマクリシュナの神官就任
聖母への思慕 修道女との出会い グル(靈師)との
出会い 無分別三昧の境地 近代インドの宗教改
革 ケーシヤブ・セーンとの出会い 不治の病にか
かる 死の予告と秘密の告白 聖者の死

三 靈的エネルギーの爆発——意志のヨーガ……………154

ヴィヴェーカーナンダ ラーマクリシュナの慈愛
聖母カーリーのお告げ 無想三昧の経験 流浪の旅
人間のなかの唯一神への奉仕 渡米 一躍して有
名になる 英国訪問 米国、英国へ再度の宣教
インド帰還 ラーマクリシュナ教団の組織作り 教
化活動 ベールル・マットの開創 最後の欧米旅行

聖者の晩年 聖者の最期

第三章 ヨーガの本質と歴史

一 ヨーガとは何か?……………204

ヨーガは宗教の一種である 純粹主観的自己への道

二 ヨーガ行法の生い立ち……………211

ヨーガの起原をどこに求めるか ヨーガ行法の心理的
過程 サーンキヤ哲学の成立 ハタ・ヨーガと現代

三 ヨーガの頭教と密教……………221

密教とオカルティズム 密教発生の事情 インド教
の成立 頭教ヨーガとは? 密教ヨーガとは?

第四章 般若心経の実態

——ハンニャ・ボサツの心臓を解き明かす教典

一 般若心経の構造……………	242
実態の解明 般若心経の内容概括	
二 経題について……………	244
経題についての誤解 智恵の極限 偉大なる心臓の 呪文 心臓に宿るたましい	
三 般若心経のなかの序文……………	255
序文の重複 観音さまの名の由来 われは梵なり 五蘊無我説 智恵と知識の違い 経験的直観と知的 直観 空と知的直観との関係	
四 般若（智恵）の内容解説……………	280
最高の智恵とは？ 智恵の中味 色と空は同一なり 心経の思想の本意 万象即真我 一切諸法の否定 ハンニャ智の功德	
五 般若ボサツのマントラ……………	306
すべての苦悩からの解放 マントラの靈験 神に対 する合図 女神信仰の意味	

あとがき